

令和 7 年分の所得見込計算書(市民税・県民税減免申請用)

※所得見込計算書の内容に基づいて減免の可否を判断します。

●当該年度の1月1日から12月31日までの収入見込額について記入してください。

(例:令和7年度の市民税・県民税の減免を申請する場合→令和7年1月1日から12月31日までの収入見込額を記入してください。)

太枠の中を記入してください。

納税義務者氏名

加古川 太郎

1 収入見込はありますか? ☒ はい → 下の『2 収入金額の内訳』を記入してください。

☐ いいえ → 以上で記入終了です。

2 収入金額の内訳を記入してください。

[A] 給与収入がある方 ※通勤手当は年間収入見込額から除いてください。

勤務先名	年間収入見込額
(株)〇〇〇〇	519,621 円
(株)△△	400,000 円
(株)□□□	300,000 円

[B] 公的年金等の収入がある方

支払者名	年間収入見込額
厚生労働省年金局	2,226,468 円
企業年金連合会	円
その他 ()	円

[C] 上記以外の収入がある方

所得の種類	支払者名、 所得の生じる場所	収入金額	必要経費	所得金額
☒ その他雑 ☐ 総合配当 ☐ 業務雑 ☐ 不動産 ☐ 総合配当 ☐ 営業等 ☐ 農業	個人年金 (〇〇生命)	1,114,569 円	766,848 円	347,721 円
☐ その他雑 ☐ 総合配当 ☐ 業務雑 ☒ 不動産 ☐ 総合配当 ☐ 営業等 ☐ 農業	貸事務所	500,000 円	400,000 円	100,000 円
☐ その他雑 ☐ 総合配当 ☒ 業務雑 ☐ 不動産 ☐ 総合配当 ☒ 営業等 ☐ 農業	〇〇商店	8,582,000 円	8,500,000 円	82,000 円

※総合配当のうち、申告不要制度を選択する場合は計上しないようにしてください。

市使用欄

収入金額(見込)	
給 与	円
公的年金等	円
雑 業 務	円
そ の 他	円
不 動 産	円
総 合 配 当	円
事 業 営 業 等	円
業 農 業	円
収入見込なし	

所得金額(見込)[B]
円
円
円
円
円
円
円
円

[A]普通所得 金額(前年)	円
[B]普通所得 金額(見込み)	円
[B]/[A]	
判定	半減・半減せず

給与記入例

すでに受け取った給与額

・令和7年分 給与所得の源泉徴収票をお持ちの場合:支払金額を記入してください。

令和7年分 給与所得の源泉徴収票					
支 払 金 額	給 与 所 得 控 除 後 の 金 額	所 得 控 除 の 額 の 合 計 額	源泉徴収税額	氏 名	加古川 太郎
519,621			1,980		
(源泉)控除対象 配偶者	配偶者(特別) 控除の額	控除対象扶養親族の数 (配偶者を除く。)	16 歳	障害者の数	非居住者

この金額を記入

・給与明細がある場合:各月の総支給額の合計金額を記入してください。

※賞与がある場合は、賞与額も加算してください。

※申請日以降も引続き勤務し、令和7年12月31日までに受け取る
予定の給与がある場合は、その金額を合計して記入してください。

・資料が何もない場合:受け取った給与の金額を記入してください。

※申請日以降も引続き勤務し、令和7年12月31日までに受け取る
予定の給与がある場合は、その金額を合計して記入してください。
(例)1ヶ月100,000円で、1月～4月まで給与が支給されていた場合
100,000円×4ヶ月=400,000円

これから受け取る予定の給与額

令和7年12月31日までに受け取る予定の給与の金額を記入してください。

(例)1ヶ月50,000円で7月～12月まで支給見込みがある場合
50,000円×6ヶ月=300,000円

公的年金記入例

・年金振込通知書等を参考に、令和7年中に支給される年金見込額を記入してください。

各支払期の振込額、および年金から控除される額			
	令和6年 10月	令和6年 12月	令和7年 2月
年 金 支 払 額	371,077	371,077	371,078
介 護 保 険 料	***	***	***
***	***	***	***
所得税額	0	0	28,415
個 人 住 民 税 額	***	***	***
控 除 後 振 込 額	371,077	371,077	342,663

1回あたり371,078円
の年金支給がある

(例)
令和7年2月から12月までの各偶数月に
371,078円の支給見込みがあるため

371,078円×6回=2,226,468円